

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	地域に密着した医療サービスの提供	コード	作成者	役職	病院総括事務長
		04-06-24		氏名	森 脇 博
				電話	0869 - 64 - 3385
				このシート作成に要した時間	1.0 時間

この施策の アピール ポイント	さつき苑を含む3病院は平成27年度から、公営企業法の全部適用となったことで、3病院の特性を活かし、公立病院の使命でもある休日、平日の夜間診療をはじめとする救急医療体制を構築し、安全で安心な医療を提供いたします。また、家庭と病院の中間的な役割である老人保健施設さつき苑のサービスの向上を図ります。
-----------------------	---

この施策の 平成26年度の 施政方針	本市独自の就学資金貸与制度等をPRし、医師、看護師をはじめ医療技術職員等の確保に努め、市内及び近隣市町の行政、医療、介護、福祉機関との連携を図り、市民のニーズに合った医療、介護サービスの提供を行う。また、平成25年度に市立3病院が加入した岡山県の地域医療情報ネットワークシステムを活用し、広域的な病院間の連携強化を図る。
--------------------------	--

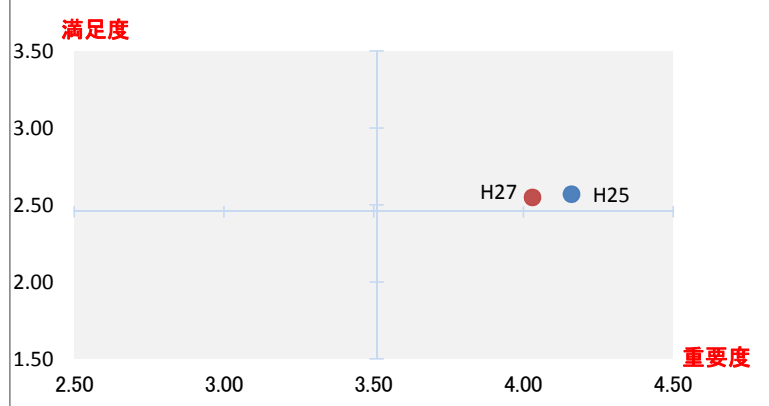
<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	「安全・安心」
	基本計画 (中項目)	「誰もがいつまでも安心して暮らせるまち」
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	地域住民の方々に安全で安心な医療を提供する	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	3病院のハード事業は完了している。今後は3病院の機能分担による経営の効率化を図り、持続可能な上質な医療体制の転換が求められている。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 医療スタッフの充実・人材育成 救急医療体制の充実 地域医療連携の推進 安定した病院経営の推進 在宅復帰支援の充実 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		4.16	4.03
満足度 (%)		2.57	2.55

《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民の期待は若者も安心して暮らしていくためにも、産婦人科、小児科の創設を望む声が根強い
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H24	H25			H26	H27
100床当たりの医師数	目標	人	12.0	12.0	12.0	・年度末医師数/病床数×100 ・H26備前8.7人、日生6.6人、吉永19.4人	H27	12.0
	実績	人	10.5	10.6	10.2		H28	12.0
	達成率	%	87.5	88.3	85.0		H34	12.0
	ベンチマーク		7.5	7.6	7.5		前年度全国自治体病院(50床以上100床未満)平均	—
参考指標① 経常収支比率	目標	%	100.0	100.0	100.0	・経常収益/経常費用×100 ・H26備前95.0%、日生107.1%、吉永100.2%	H27	100.0
	実績	%	99.9	98.8	100.0		H28	100.0
	達成率	%	99.9	98.8	100.0		H34	100.0
	ベンチマーク		99.2	97.9	97.7		前年度全国自治体病院(50床以上100床未満)平均	—
参考指標② 病床利用率 (一般病床のみ)	目標	%	90.0	90.0	90.0	・年延入院患者数/年延稼働病床数×100 ・H26備前61.5%、日生79.3%、吉永92.3%	H27	90.0
	実績	%	83.5	81.0	74.1		H28	90.0
	達成率	%	92.8	90.0	82.3		H34	90.0
	ベンチマーク		71.1	69.3	68.1		前年度全国自治体病院(50床以上100床未満)平均	—
参考指標③ 救急搬送患者の受入割合	目標	%	70.0	70.0	70.0	・市立3病院の受入れ人数/東備消防組合管内医療機関への救急搬送人員×100 ・H26備前25.3%、日生15.0%、吉永26.4%	H27	70.0
	実績	%	70.5	71.9	66.7		H28	70.0
	達成率	%	100.7	102.7	95.3		H34	70.0
	ベンチマーク		71.1	71.1	71.1		備前市人口/管内人口×100	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
和気医師会・保健課	在宅医療連携拠点事業	市・医師会・医療介護関係機関が連携することにより、適切に在宅医療や家族の希望に沿った最適なサービスが提供できる
医療福祉連携課	在宅医療連携拠点事業	地域包括ケアシステムが構築され、自分らしい人生が出来るよう地域の包括的な支援・サービスの提供体制が整う。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	成果指標については、全国自治体病院の医師数平均値を下回らないよう医師数を成果指標とし、参考指標には経営の健全性を示す指標として経常収支比率と病床利用率を、医療機能の面から東備消防組合管内における救急搬送の受け入れ割合とした。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	事業構成は適当である。手段についても貢献度において効率性や採算性だけでなく、医療機能や住民福祉も考慮しており最適である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	病床利用率は全国平均を上回っているが、3病院とも当初の目標である入院・外来などの業務量に及ばない。経常収支比率においては日生病院が良好なものの、備前・吉永病院は目標に達していない。今後は原因を分析した上業務量の改善が必要である。	
進行年度 (H27年度) の取組内容 (課題解決状況)		入院医療・外来医療を含めた3病院の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実及び老人保健施設のサービスの向上に取り組んだ。	
翌年度 (H28年度) の取組目標		地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法令が整備されたことにより、医療・介護サービスの一体改革が推進され地域包括ケアシステムの確立を目指す	
二次評価者コメント		<p>成果指標である医師数の確保は、ベンチマークはクリアしているが、目標値を1.8人下回った。経営指標となる経常収支比率は、目標を達成できたものの、備前病院で95%と目標を5P、ベンチマークでも2.7P下がった。内部留保資金は、病院全体で約26億円確保しており、健全経営を維持している。</p> <p>本年4月から公営企業法の全適用により設置した病院事業管理者の下、引き続き、病院事業の健全化に努めるとともに医師等医療スタッフの充実を図りながら、地域医療情報ネットワークを活用して市立3病院のほか多病院との連携を進め、より地域に密着した医療サービスを提供していく必要がある。</p>	
		基本施策への貢献度	3 中立

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円、人）										施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~☆☆	
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01	3 病院運営事業	備前市病院事業運営事業	内部管理	102	3,141	0.18	151	3,705	0.32	116	5,208	0.46	470	☆☆☆☆☆
		病院運営(各種委員会)	内部管理	2,801	25,375	1.61	2,880	15,595	1.42	3,657	14,670	1.45	3,130	☆☆☆☆
02	備前病院運営事業	労務管理	内部管理	978	2,222	0.55	1,242	2,708	0.60	1,770	3,105	0.70	1,711	☆☆☆
		施設管理	内部管理	13,295	6,863	1.79	12,885	5,951	1.39	14,027	5,334	1.31	15,614	☆☆
		財務管理	内部管理	2,423	4,587	1.07	2,474	4,096	0.70	2,818	4,516	0.79	2,292	☆☆☆☆
		その他庶務	内部管理	10,549	14,499	5.10	11,440	16,338	4.67	14,547	15,153	5.02	14,712	☆
		収納事業(請求)	内部管理	316	1,330	0.18	153	529	0.08	3,387	671	0.10	2,799	☆☆☆
03	備前病院診療事業	診療事業/入院	単市	327,048	433,373	60.75	348,572	458,983	67.91	355,685	439,178	54.38	396,642	☆☆☆☆☆
		診療事業/外来	単市	189,465	344,744	43.84	203,625	332,181	42.39	229,968	291,879	32.37	247,004	☆☆☆☆☆
		健診事業/健診	単市	4,295	12,497	2.10	5,180	14,435	2.19	6,982	14,477	1.94	6,143	☆☆☆
		地域連携事業	単市	569	2,125	0.33	968	2,951	0.48	1,527	3,868	0.48	1,295	☆☆
		相談事業	単市	1,285	3,603	0.74	2,446	6,138	1.21	2,323	4,597	0.73	1,970	☆☆☆
		その他医事	単市	45,389	7,660	1.01	45,822	12,619	1.49	48,223	14,275	1.28	48,454	☆
		さつき苑入所運営事業	入所運営事業	単市	133,656	174,215	34.76	163,620	161,784	32.56	151,958	165,765	33.81	326,922
05	通所リハビリ運営事業	通所リハビリ運営事業	単市	23,654	27,001	6.58	10,633	35,289	8.30	27,645	27,900	7.02	62,666	☆☆☆☆
06	居宅介護支援運営事業	居宅介護支援運営事業	単市	632	4,747	0.98	383	4,698	0.98	27	5,091	1.02	4,293	☆☆☆
07	訪問看護事業	訪問看護事業	単市	2,909	15,798	2.98	3,979	15,850	2.98	4,390	16,444	3.02	23,466	☆☆☆
08	日生病院運営事業	病院運営(各種委員会)	内部管理	6,617	6,025	0.95	8,320	5,983	0.99	6,932	6,009	0.95	7,595	☆☆☆☆
		労務管理	内部管理	8,137	7,409	0.82	9,616	6,915	0.74	7,872	6,824	0.72	8,625	☆☆☆
		施設管理	内部管理	4,689	4,270	0.55	4,464	3,210	0.39	2,794	2,422	0.29	3,061	☆☆
		財務管理	内部管理	3,899	3,550	0.47	6,060	4,358	0.55	4,492	3,894	0.48	4,922	☆☆☆
		その他庶務	内部管理	2,258	2,055	0.27	8,196	5,894	0.74	8,381	7,266	0.90	9,184	☆
09	日生病院診療事業	収納事業(未収金対策)	内部管理	5,359	4,880	1.15	4,905	3,527	1.13	3,331	2,888	0.86	3,650	☆☆☆☆
		診療事業/入院	単市	347,533	316,453	54.27	455,457	327,528	60.02	372,885	323,250	56.87	408,571	☆☆☆☆☆
		診療事業/外来	単市	203,902	185,667	32.96	269,597	193,872	32.53	235,748	204,368	33.29	258,311	☆☆☆☆☆
		検診事業/検診	単市	5,249	4,780	0.70	6,604	4,749	0.65	5,161	4,474	0.55	5,655	☆☆☆
		地域連携事業	単市	2,587	2,356	0.30	2,712	1,950	0.25	2,033	1,762	0.22	2,227	☆☆
		相談事業	単市	3,179	2,895	0.33	1,735	1,248	0.15	1,563	1,355	0.16	1,713	☆☆☆
		その他医事	単市	2,990	2,723	0.40	9,687	6,966	1.01	8,573	7,432	0.88	9,394	☆
10	吉永病院運営事業	病院運営(各種委員会)	内部管理	6,062	7,365	0.68	3,380	6,312	0.54	2,281	5,422	0.46	2,375	☆☆☆☆
		労務管理	内部管理	5,706	7,615	0.64	8,876	7,764	0.69	9,347	7,117	0.72	10,616	☆☆☆
		施設管理	内部管理	981	965	0.11	1,682	883	0.13	4,002	3,047	0.85	4,545	☆☆
		財務管理	内部管理	4,458	4,476	0.50	9,921	5,246	0.77	8,888	6,767	1.07	10,094	☆☆☆
		その他庶務	内部管理	28,352	25,066	3.18	37,536	22,204	2.91	15,706	11,959	1.78	17,838	☆
11	吉永病院診療事業	収納事業(未収金対策)	内部管理	3,152	2,035	0.27	1,621	2,178	0.29	1,325	1,764	0.24	1,419	☆☆☆☆
		診療事業/入院	単市	436,463	231,447	37.39	405,041	245,170	39.38	437,879	258,763	41.02	464,913	☆☆☆☆☆
		診療事業/外来	単市	661,406	316,840	56.66	740,660	347,965	63.67	779,750	373,662	66.11	831,525	☆☆
		検診事業/検診	単市	18,444	10,692	1.58	8,783	11,658	1.69	9,135	11,731	1.59	9,784	☆☆☆
		地域連携事業	単市	11,323	5,051	0.97	4,264	5,689	1.10	4,579	5,881	1.10	4,905	☆☆
		相談事業	単市	3,035	2,494	0.26	1,456	2,015	0.17	1,405	1,805	0.15	1,505	☆☆☆
		その他医事	単市	19,494	12,276	1.67	7,803	10,492	1.41	4,081	5,434	0.77	4,370	☆
この施策に費やした資源（単位：千円、人）			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度								
			2,554,641	2,253,165	361.63	2,834,829	2,327,626	381.57	2,807,193	2,297,427	357.91	3,246,380		

備前市事務事業評価シート

事業の概要		17年度～	根拠法令・例規等		医療法 備前市国民健康保険病院条例
事業開始年度	04	土台となる政策「安全・安心」	問	担当課(室)	市立備前病院
大項目基本構想	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	合	職・氏名	庶務係長 藤澤昌紀
中項目基本計画	24	地域に密着した医療サービスの提供	先	電 話	0869-64-3385
小項目施策	01	3病院運営事業	このシート作成に要した時間		5.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	出資者である市民	
目的(何のために)	備前市の病院事業を運営するにあたり、常に企業の経済性を発揮するとともに、安心・安全で地域に開かれた医療を提供して公共の福祉を推進するように努めるため。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民が安心して医療を受けられる体制とすることが第一義であり、安定的な経営を行うことによって、市民ニーズに沿った病院を、将来にわたり維持・存続させる。	

事業の実績		事業の説明		優先度
備前市病院事業運営事業	地方公営企業法の全部適用へと移行し、3病院の運営を、より経営状況が優れ、安定したものとなるように目指す。また、改革の方策について、事務担当者の連絡会を開催し、連携を密にしてより良い病院事業運営に資する。			◎
目的を達成するため実施した事業	右欄の評価の説明 <妥当性評価> 変化が大きい医療情勢に対応するためにも、地方公営企業法の全部適用を行い、持続して病院事業を運営していくため、3病院間での課題の共有など、連携は不可欠である。 <効率性評価> 地方公営企業法の全部適用を行うことで、病院間の連携をより密にし、経験や情報を共有することで、効率的な経営を行うことができる。 <有効性評価> 地方公営企業法の全部適用により、経営に知見を有する管理者のもとで有効な施策を講じ、経験や情報を共有して経営改善につなげることができる。			

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	千円		102	151	116
必要人員	人		0.18人	0.32人	0.46人
必要人員費	千円		3,141	3,705	5,208
事業費計	千円		3,243	3,856	5,324
国	千円				
県	千円				
支	千円				
出	千円				
金	千円				
受	千円				
益	千円				
者	千円				
負	千円				
担	千円				
比	千円				
率	千円				
一	千円				
般	千円				
財	千円				
源	千円				
受	千円				
益	千円				
者	千円				
負	千円				
担	千円				
比	千円				
率	千円				

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
委員会及び連絡会開催回数	説明		経営評価委員会、病院事業幹部会議、事務部連絡会及び全部適用協議開催回数		
結果指標量	回		16	14	25
対前年比	%		-	87.5%	178.6%
活動コスト	円		3,243,000	3,856,000	5,324,000
単位当たりコスト	円		202,688	275,429	212,960

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成26年度事業)

成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
決算における経常収支比率(病院事業合算)	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	99.92	98.84	99.96	到達目標値
	達成率(B/A)	99.92%	98.84%	99.96%	100
成果指標設定の考え方・式や説明					
経常収益/経常費用×100 「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経常効率化の3指標 ①経常収支比率、②職員給与費率、③病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすい①経常収支比率を選択した。(各病院運営事業のシートで、各病院の経常収支比率を掲載)					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い いや通やいい 高 低い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低い いや通やいい 高 低い
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	有効性評価 A B C D E 高や普や低い いや通やいい 高 低い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低い いや通やいい 高 低い
市民参画度			C

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H27年度)の改革改善内容																	
状況	<table border="1"> <tr> <th>状況</th> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了				○				
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了										
			○														
説明	新たな公立病院改革プランを策定するため、調査及び検討を行い、人材確保、経費節減等、経営改善の充実を図っていく。 また、病院間での連携を密にし、共同可能な事務を一元化し、効率化を図る。																

総合評価		総合評価 A B C D E 高や普や低い いや通やいい 高 低い	C
経営状況を改善・安定させるため、公営企業法の全部適用化で設置可能となった事業管理者のもとで、有効な打ち手を実施していける環境が整備された。今後はその環境を最大限に生かし、将来にわたって地域医療に貢献できる病院事業であることを目指す。			

平成28年度の方向性・取組目標																	
方向性	<table border="1"> <tr> <th>方向性</th> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			○					
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了										
		○															
取組目標	安定して良質な医療を提供できる基盤を構築するため、新たな公立病院事業改革プランを作成し、将来の方向性の決定と収益性向上を目指す。 また、改革プランを策定するうえで重要になる、県の地域医療構想について、対応できるよう、早めの情報収集に努める。																

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		17年度～		医療法 備前市国民健康保険病院条例	
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	根拠法令・例規等	市立備前病院
	中項目 基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち		
	小項目 施策	24	地域に密着した医療サービスの提供		
事務事業名		02	備前病院運営事業	職・氏名	庶務係長 藤澤昌紀
				電 話	0869-64-3385
		このシート作成に要した時間			7.0 時間

事業の目的		Plan	
対象 (誰・何に対して)	出資者である市民		
目的 (何のために)	市立備前病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的・効率的な病院経営の推進を図る。		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市民に安全で良質な医療を提供することを病院の理念としており、安定的な経営を行うことによって、地域の皆様に信頼され、市民ニーズに沿った病院を維持・存続させる。		

事業の実績		Do	
細事業名	事業の説明	優先度	
病院運営(各種委員会)	病院の安全管理、感染対策や、業務、経営改善のため協議を行う各種委員会に関する業務	○	
労務管理	病院職員の労務・健康管理や雇用、給与支払等に関する業務	○	
施設管理	病院施設の維持・管理、故障対応や修繕等に関する業務	▲	
財務管理	病院運営のための財務管理、各種統計調査等に関する業務	◎	
その他庶務	法令・条例に沿った病院運営の庶務、市役所との連携、他の細事業に属さない事務	▲	

右欄の評価の説明

<妥当性評価>
運営状況は厳しいが、入院機能や高度医療機器を備えた備前地区の中核病院として、安全で良質な医療を提供するためには、必要不可欠な事業である。

<効率性評価>
他病院、他団体の情報を広く収集し、材料費・経費の節減や、費用に見合った収益を確保できるよう、更に研究していく必要がある。人材配置についても、適正なものとなるように取り組む必要がある。
また、他の医療機関との連携を強めるとともに、地域住民のニーズに沿った病院となるよう院内で協議を重ね、患者目線に立ち、良質な医療を提供できるよう、機能性・効率性を重視して経営改善に取り組む必要がある。

<有効性評価>
理念どおりの、安全で良質な医療の提供のために最善を尽くし、地域の人々に信頼される病院とするためには、施設や機器の維持・整備のハード面と、病院の機能や職員の能力を向上させる必要がある、その実現に向けて、継続して利益を確保していく必要がある。

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	直接事業費	千円		30,046	30,921	36,819
	必要人員	人		10.12人	53.546	8.78人
	必要人員	人		53.546	8.78人	44.688
	必要人員	人		44.688	9.27人	42.778
財源	事業費		千円	83,592	75,609	79,597
	国	千円		1,708	1,853	1,513
	県	千円				
	支	千円				
	出	千円				
受	益	千円				
	者	千円				
	負	千円				
担	千円					
源	千円					
一	千円					
般	千円					
財	千円					
源	千円					
受	千円					
益	千円					
者	千円					
負	千円					
担	千円					
比	千円					
率	千円					

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	会議出席者数	人			
	会議出席者延数	人			
	結果指標量	人		2,049	2,138
	対前年比	%		-	104.3%
活動コスト	円		28,176,000	18,475,000	
単当たりコスト	円		13,751	8,641	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成26年度事業)

事業の成果	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
決算における経常収支比率	目標値 (A)		100	100	100	100
	実績値 (B)		100.3	92.3	92.5	到達目標値
	達成率 (B/A)		100.30%	92.30%	92.50%	100
成果指標設定の考え方・式や説明						
経常収支/経常費用×100 「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標 ①経常収支比率、②職員給与費率、③病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすい①の経常収支比率を選択した。(診療事業のシートで③を選択)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	市民参画度 C	

事業の目的やその数値目標にある成果指標に留意しながら

進行年度 (H27年度) の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			○				
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
		○													
説明	医療介護総合確保推進法の施行に伴い、病院内で完結していた治療を、地域内での完結を目指す地域包括ケアの観点から、病院運営を見直す必要がある。また、27年度から地方公営企業法の全部適用へ移行したことにより、事業管理者の指揮のもとで、職員の意識改革、行動改革、収益向上、経費節減等、経営改善の充実を図っていく。														

総合評価		総合評価
入院患者数の減少により、収支の状況は悪化した。原因の一つには、平成25年に常勤の脳神経外科医が不在となり、大学からの後任派遣も、脳神経外科医の絶対数の少なさから実現せず、十分な医師確保が図られていないことにある。このような現状を、管理職だけではなく職員一同が十分に理解して、経営やコスト意識について研究し、取り組んでいく必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			○				
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
		○													
取組目標	病院の各部門で定めた目標について、個々の職員がその実現に向けて努力し、達成度合いを点検・評価していく。 職員の中から、改善の意見を拾い上げ、できることは全てやっていく姿勢を保ち続け、日々のそうした取り組みを通し、患者ニーズに沿ったサービスの提供を実現するとともに、3病院の連携の充実や経費節減にも更に力を注ぎ、健全経営を目指す。														

Action

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		根拠法令・例規等		
事業開始年度		平成17年度～		医療法 備前市国民健康保険条例		
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室)	市立備前病院 事務部	
	中項目 基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち		職・氏名	医事係長 尾崎 嘉代
	小項目 施策	24	地域に密着した医療サービスの提供		電 話	0869-64-3385
事務事業名		03	備前病院診療事業	このシート作成に要した時間		
				2.0 時間		

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	病気の予防及び治療を必要とする人
目的 (何のために)	安心・安全で良質な医療の提供
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	安心安全な医療が受けられる環境整備と良質な医療を提供し、患者数の増加を図り、経営基盤の強化を目指す。

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
収納事業/未収金	未収金の回収業務	◎
診療事業/入院	入院による診療サービスの提供	◎
診療事業/外来	外来による診療サービスの提供	◎
健診事業/健診	住民健診・企業検診・人間ドックによる市民の健康管理の提供	◎
地域連携事業	病院と診療所での連携・病院と病院との連携・介護福祉施設等との連携を図り、患者さまにより良い医療サービスを提供	○
相談事業	入院中や在宅での不安、介護施設利用などの相談業務	○
その他医事	各種法令に沿った申請、届出等医療事務サービスの提供	○

右欄の評価の説明

〈妥当性評価〉
備前地域での中核病院であり、救急告示病院である。病院の改築、高度医療機器も充実している。今年度よりケアミックス病棟として地域包括ケア病床8床を稼働させ急性期を脱した患者の受入体制も充実させた。健康教室の毎月の開催、ワンコインチェックなど独自の医療サービスの提供を行っている。

〈効率性評価〉
院内での業務改善、サービス向上委員会を毎月定期的に開催し、患者満足度を高め市民が信頼して利用できる医療機関を目指す取組を行っている。

〈有効性評価〉
職員意識改革への取組として、経営状況の理解を徹底し、年度毎の経営計画を策定し経営目標に沿った目標管理を実施している。昨年度、脳神経外科医師の退職、外科医師の産休取得により収益は予想を下回る結果となった。地域包括ケア病床の稼働に伴い、退院調整の見直しを行うと共に、病病連携、病診連携、特に前方連携を強化し収益増加に努めている。

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	568,367	606,766	648,095
	必要人員人件費	千円	108.95人	805,332	91.28人
	事業費	千円	1,373,699	1,434,602	1,417,040
決算額	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円	125,538	127,483	104,242
	その他(債)	千円			
一般財源		1,248,161	1,307,119	1,312,798	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成24年度実績		平成25年度実績		平成26年度実績	
結果指標	延患者数	説明	入院	外来	入院	外来	入院	外来
	結果指標量		26,347	54,762	24,748	54,388	20,218	53,813
	対前年比%		112.8	113.0	93.9	99.3	81.7	98.9
	活動コスト	円	760,421,000	534,209,000	807,555,000	535,806,000	794,863,000	521,847,000
単当たりコスト	円		28,862	9,755	32,631	9,852	39,315	9,697

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
成果指標名	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
	病床利用率(%)	目標値(A)	81.1	83.3	84.0	84.0
		実績値(B)	80.2	75.3	61.5	到達目標値
	達成率(B/A)		98.89%	90.40%	73.21%	毎年度

成果指標設定の考え方・式や説明

安定した病院経営をするためには、収益の確保と継続が重要である。このため、経営の効率化に経営指標(収支改善、経費削減、収入確保、経営の安定性等)の中から、収入確保に係るものとして病床利用率を成果指標として選択し、目標値を設定。
*病床利用率(%)=入院延患者数÷診療日数(365日又は366日)÷ベッド数

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 市民参画度	<input type="checkbox"/> 市民参画度	C

進行年度(H27年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	収益改善プロジェクトチームにおいて、各部署より業務内容を再度見直し、収益改善に向けた検討を引き続き実施する。昨年度より稼働した地域包括ケア病床の病床数の見直し等を行い、収益向上を図る。未収金対策として、督促等の手続きを再点検し、細やかな取組制度を確立する。アンケート等を通じ、患者さまの声本位の病院機能充実に向け安心安全、信頼できる病院を目指し、患者数増加を図り安定経営に努める。					

総合評価	
前年度、脳神経外科医師の退職、外科医師の産休取得により、収益としても予想を下回る結果となった。今年度より地域包括ケア病床を稼働し、急性期を脱した患者の受入体制も充実させ収益向上に努めている。今後、病院事業管理者の下、さらなる経営改善を行い、安定した経営基盤を確保することが必要である。	総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い C

平成28年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
	○					
取組目標	国が推進する、医療、介護、福祉の連携強化に努め、地域包括ケア病床の安定した運営を行い、収益向上策の要として確立していく必要がある。病院事業管理者の方針の下、早期に当院の機能を生かした経営戦略を再構築し、持続可能な経営改善を行っていく。また、医師、看護師不足解消のため、勤務形態や勤務案件の改善に取り組むとともに、医療情報ネットワークを推進し、救急病院との医療連携の充実を目指し、市民に親しみと安心安全な医療の提供を実施していく。					

事業の目的やその数値目標に留意しながら

Action

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成9年度～		根拠法令・例規等	介護保険法
事業開始年度				問	担当課(室)
総合計画	大項目	基本目標	04	土台となる政策「安全・安心」	備前さつき苑事務部
	中項目	基本施策	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	係長 直原吉洋
	小項目	施策	24	地域に密着した医療サービスの提供	電話 0869-63-9300
事務事業名	05 通所リハビリ運営事業			このシート作成に要した時間	6.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	介護保険法に定めるところによる、65歳以上(第1号被保険者)または40歳以上(第2号被保険者)で要介護認定され、通所により当施設での介護サービスを希望される方。	
目的(何のために)	利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るようにする。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	利用者が可能な限り、自立した日常生活を営むことが出来るようにする。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	通所リハビリ運営事業	自宅まで送迎し、リハビリテーション・食事・入浴・レクリエーション等のサービスを行う	◎

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	必要人員	千人円	23,654	10,633	27,645
財源	事業費	必要人員	千人円	6.58人	27,001	8.30人
	事業費	必要人員	千人円	50,655	45,922	55,545
	国	支出金	千円	47,731	42,620	52,356
	受	益者負担	千円	2,924	3,302	3,189
	線	入金	千円			
受	益者負担	比率	%	5.8%	7.2%	5.7%
	結果指標名	単位				

結果指標	結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	対	前	年	5,019	5,196	5,438
	比	率	%	103.5%	104.7%	
	活	動	コ	50,655,000	45,921,000	46,260,141
単	位	当	10,093	8,838	8,507	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		(平成26年度事業)				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
1日当たり利用者数(人/日)	目標値(A)	22.0	23.0	24.0	24.0	
	実績値(B)	20.5	21.3	22.3	到達目標値	
	達成率(B/A)	93.18%	92.61%	92.92%	24.0	
成果指標設定の考え方・式や説明						
意図とする成果の指標として、施設能力を十分に活かしているかを1日当たり通所利用者数でみる。 ○1日当たり利用者数(年間) = 年間延利用者数 ÷ 事業日数 (H26年度 = 5,856人 ÷ 244日 = 24.0人/日) ※H22.10月から定員を増員(20人→30人)したため、目標値を増加している						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー B
	効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業については積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー C	
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業については積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー C		

進行年度(H27年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>○</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
説明	H22年度の定員増に伴い、人的・設備的受入体制をさらに充実・整備したうえで、効率よく利用者の増加、増収を図る。														

総合評価	
少子高齢化に伴い、老人介護の必要性は今後ますます増大していくと思われる。そうした中、利用者により一層安心して利用してもらえるよう、サービスの充実を図ると共に、利用者の自立を促し、家族の負担を軽減できるよう、更なる努力をしていく必要がある。利用者は増加しているが、受入体制整備等経費増があり単位当たりコストが上がった。安定運営に伴いコスト減も図ることが可能であり、今後成果が期待できる。さらに利用者を増やしより有効な事業展開を目指し、受入体制等の充実が必要である。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い ー B

平成28年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td> </td> <td>○</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
取組目標	利用者増対策の経過・推移を観察しながら、送迎等受入体制等を随時見直し経費の増加を抑えながら、効率的なサービス受給者の組み合わせを行うことにより利用者を増やし、コストの有効利用を図る。														

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成17年度～		根拠法令・例規等	医療法 備前市国民健康保険病院条例
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問	担当課(室) 市立日生病院
	中項目 基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	合	職・氏名 庶務係長・小野田一義
	小項目 施策	24	地域に密着した医療サービスの提供	先	電話 0869-72-1111
事務事業名		08	日生病院運営事業	このシート作成に要した時間 5.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	出資者である市民	
目的 (何のために)	市立日生病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と計画的・効率的な病院経営の推進を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	患者と病院が相互に信頼し、健康増進と疾病の予防及び地域に開かれた温かく、親しみにあふれる医療の提供ができる病院とする。また、経営の改革と基盤強化に取り組み、経営の健全化及び事業の活性化に努めながら安定した病院経営とする。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	
病院経営(各種委員会)	病院の経営及改善等のための協議を行う各種委員会に関する業務	○	
労務管理	病院職員の労務・健康管理	○	
施設管理	病院施設の管理	△	
財務管理	病院運営の財務管理	◎	
その他庶務	法令・条例に沿った病院運営の庶務	△	

右欄の評価の説明

<妥当性評価>
 ○市民からの要望に対し各種委員会で実情調査とその対応について協議。結果を院内掲示等により回答し、対応可能なものは早期に改善するなど地域住民ニーズに応えるよう努めた。
 ○医療圏全体では医師数、病床数とも不足はないとされているが、基幹病院はすべて岡山市内に集中している。また、周辺部では医師や看護師が不足し、医療機能は低下している感がある。このため、医療機関相互の機能分担と連携が必要。

<効率性評価>
 ○他病院の情報を広く収集し、薬品・診療材料等の材料費の削減と委託・賃借料の複数年契約の実施等により経費削減を行う。
 ○医療サービスの向上、経営の健全・効率化、経営基盤の強化の観点から引続き医療機関相互の連携と機能分担を推進し、医療提供体制の改善を図る必要がある。

<有効性評価>
 ○26年度決算については経常収支について黒字を確保することができ、留保資金についても昨年度に引き続き目標値5億円を確保していることから、引き続き安定経営が維持できるよう努力していく。

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	千円		25,600	36,656	30,471
	必要人員	人		3.06人	23.309	3.41人
	必要人員	人		23,309	3,410	26,360
	事業費	千円		48,909	63,016	56,886
財源	国	千円				
	県	千円				
	支	千円				
	出	千円				
	金	千円				
受	千円					
益	千円					
者	千円					
負	千円					
担	千円					
比	千円					
率	千円					
一	千円					
般	千円					
財	千円					
源	千円					
受	千円					
益	千円					
者	千円					
負	千円					
担	千円					
比	千円					
率	千円					

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量	人	851	879	882
	対前年比	%	-	103.3%	100.3%
	活動コスト	円	12,642,000	14,303,000	12,941,000
	単位当たりコスト	円	14,855	16,272	14,672

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成26年度事業)

事業の成果	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
決算における経常収支比率	目標値(A)		100	100	100	100
	実績値(B)		101.2	105.3	107.1	到達目標値
	達成率(B/A)		101.20%	105.30%	107.10%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
経常収益/経常費用×100 ※「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標①経常収支比率、②職員給与費比率、③病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民に最もわかりやすい①の経常収支比率を選択した。(診療事業のシートで③を選択)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >				Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である			妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い			A	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている			効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している			有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
市民参画度						B

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
説明	26年度決算については、経常収支比率107.1%、経常利益90,930千円を確保することができたが、経営の安定化を推進するためには引き続き事業運営の見直しと検討及び地域住民の医療ニーズへの対応を考慮しながら経営健全化に努めていく必要がある。						

総合評価		総合評価
各種委員会等①医療事故・ヒヤリハット事例の検証と対策、②院内感染予防対策マニュアルの見直し、③患者からの要望・意見に対する対策とその内容の公表、④全職員を対象としたサービス向上のための目標設定とその検証、⑤職員の資質向上を目的とした院内研修などを実施したことにより、患者満足度の向上と職員の意識改革を促すことができた。また、成果指標とした経常収支比率及び留保資金の拡充については目標を達成することができたが、今後も安定経営を維持すべく一層の経営の健全化に取り組む必要がある		総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
		B

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	経営効率化を推進するため、27年度に地方公営企業法の一部適用から全部適用へ移行した。病院事業管理者のもと、経費削減、収入増加・確保対策等について検討し、経営の健全化に努めていく。						

事業の目的やその数値目標にある成果指標に留意しながら

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度		平成17年度		根拠法令・例規等		医療法、備前市国民健康保険市立吉永病院	
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」		問	担当課(室)	市立吉永病院事務部	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち			職・氏名	医事係長 石原史章	
	小項目	施策	24	地域に密着した医療サービスの提供			電 話	0869-84-2120	
事務事業名		10		吉永病院運営事業		このシート作成に要した時間		7.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	出資者である市民		
目的(何のために)	市立吉永病院の基本理念に基づき、安心、安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的、効率的な病院経営の推進を図る		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	患者さんに親しまれ、信頼され、必要とされる病院とする。また、経営の改革と基盤強化に取り組み、安定した病院経営とする		

事業の実績		Do	
細事業名	事業の説明		優先度
病院運営(各種委員会)	病院の医療安全管理、感染対策や、業務、経営改善のための各種委員会の開催		▲
労務管理	病院職員の労務、健康管理		○
施設管理	病院施設の管理		○
財務管理	病院運営の財務管理		◎
その他庶務	法令、条例に沿った病院運営の庶務、また他の細事業に属さない事務		○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	45,559	61,395	40,224
	必要人員	人	5.11人	45.487	5.04人
	必要人員	人	45,487	5.04人	42,409
財源	事業費	千円	91,046	103,804	74,536
	国	円			
	県	円			
	市	円			
	その他()	円			
一般財源	円	91,046	103,804	74,536	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
会議出席者延数	説明	会議出席者延数			
結果指標	量		1,165	1,056	978
対前年	比	%	-	90.6%	92.6%
活動	コスト	円	7,365,000	6,312,000	5,422,000
単位	当たり	コスト	6,322	5,977	5,544

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成26年度事業)

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
成果指標名	目標値(A)	104	102	102	102	
	実績値(B)	99.9	99.4	100.2	到達目標値	
	達成率(B/A)	96.06%	97.45%	98.24%		
成果指標設定の考え方・式や説明						
経常収入/経常費用×100 「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標 ①経常収支比率、②職員給与費率、③病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすい①の経常収支比率を選択した。(診療事業のシートで③を選択)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	目的達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	市民参画度			B

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H27年度)の改革改善内容	
状況	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>
説明	本年度末に策定される岡山県地域医療構想の内容を踏まえ、平成28年度の早期に新公立病院改革プランを策定していく必要がある。その中で、病院事業管理者の方針の下、市立3病院の機能分化を踏まえた経営改革の議論が喫緊の課題となっている。 人口減少社会において、当院の機能を生かすつ将来を見据えた改革プランの検討を行い、人材確保、収益向上、経費節減等、経営改善の充実を図っていく必要がある。

総合評価		総合評価
平成26年度では、医療収益が増加し、経常収支比率は100%を超えたものの、会計制度改革に伴う大幅な特別損失の計上響き、純損失の計上となった。 医療圏内の人口は減少しており、更なる外来患者数の増加を見込むことは困難だが、在宅医療サービスに重点を置いた地域包括ケアシステムの構築を踏まえ、病院事業管理者の方針の下、市立3病院間での機能分化、連携を図っていく必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標		Action	
方向性	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>		
取組目標	会計制度改革に伴い、今後は、一層の収益向上に努め、経営を安定化させていく必要がある。そのためには、今後も、在宅医療サービスに重点を置いた地域包括ケアシステムの構築を踏まえ、行政・医療・介護の関係機関等との連携を深め、病院事業管理者の方針の下、早期に病院改革プランを策定し、市立3病院間での機能分化、連携を推進していく中で、当院の機能を生かした経営戦略を再構築し、持続可能な経営改善を行っていく。		

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	平成17年度	根拠法令・例規等	医療法、備前市国民健康保険市立吉永病院		
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室)	市立吉永病院事務部		
	中項目 基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち			職・氏名	医事係長 石原史章
	小項目 施策	24	地域に密着した医療サービスの提供			電 話	0869-84-2120
事務事業名		11	吉永病院診療事業	このシート作成に要した時間		7.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	病気の治療及び予防を必要とする人	
目的 (何のために)	安全で質の高い医療サービスを提供し、親しまれ、必要とされる病院となる	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	安心安全な医療が受けられる環境整備と良質な医療を提供し、患者数の増加を図り、経営基盤の強化を目指す。	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
収納事業(未収金対策)	未収金の回収業務	◎
診療事業/入院	入院による診療サービスの提供	◎
診療事業/外来	外来による診療サービスの提供	◎
検診事業/検診	住民健診、企業健診による市民等の健康管理の提供	◎
地域連携事業	病院と診療所での連携・病院と病院との連携・介護福祉施設等との連携を図り、患者さまによりよい医療サービスを提供	○
相談事業	患者の不安や介護事業などの相談業務	○
その他医事	各種法令に沿った申請、届出等医療事務サービスの提供	○

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績		
	事業費	千円	1,153,317	1,169,628	1,238,154			
	必要人員	人	98.80人	580,835	107.71人	625,167	110.98人	659,040
	事業費	千円	1,734,152	1,794,795	1,897,194			
	国庫支出金	千円						
受益者負担								
繰入金	千円	76,640	76,100	76,597				
市債								
その他()								
一般財源		1,657,512	1,718,695	1,820,597				
受益者負担比率	%	-	-	-				

結果指標	結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績			
	入院、外来患者延数	説明	入院患者、外来患者の年間延べ人数	17,020	101,578	17,013	100,971	16,853	98,532
	対前年比	%	-	-	100.0%	99.4%	99.1%	97.6%	
	活動コスト	円	656,840,453	1,080,832,703	651,307,192	987,097,865	666,021,173	1,134,036,050	
	単位当たりコスト	円	38,592	10,640	38,283	9,776	39,519	11,509	

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成26年度事業)

事業の成果		成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
病床利用率 (%)	目標値 (A)		96	96	96	96	
	実績値 (B)		93.3	93.2	92.4	到達目標値	
	達成率 (B/A)		97.19%	97.08%	96.25%	96	

安定した病院経営をするためには、収益の確保と維持が重要である。このため、経営の効率化に経営指標(収支改善、経費削減、収入確保、経営の安定性等)の中から、収入確保に係るものとして病床利用率を成果目標として選択し、目標値を設定。
※病床利用率(%) = 入院延患者数 ÷ 診療日数 (365日又は366日) ÷ ベッド数 (50床)

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている	<input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通や低い 高い
		<input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	<input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	A
		<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
		<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している	<input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	C
		<input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である	<input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	D
		<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である	<input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである	E
		<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している	<input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい	B
		<input type="checkbox"/> 事業についてはHPや広報等で情報提供している	<input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	

進行年度 (H27年度) の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
説明	未収金対策と適正収入の確保に取り組むほか、在宅医療への取組が保健所主導で進められる中、地域連携室を中心に、医療・介護連携を図り信頼される在宅生活の継続支援を行う。 また、昨年度に引き続き、特定健診、各種人間ドックなどの受入れ体制を整え、受診可能人数を増やし、地域住民の健康維持に貢献していく。														

総合評価		総合評価
平成26年度では、病床稼働率及び外来患者数の微減となったものの、医療収益(特に入院収益)及び医療外収益は増加となった。 医療圏内の人口は減少しており、更なる外来患者数の増加を見込むことは困難だが、在宅医療サービスに重点を置いた地域包括ケアシステムの構築を踏まえ、病院事業管理者の方針の下、当院の機能を生かした経営戦略を再構築し、より一層患者満足度向上に努め、市民に信頼される医療機関を目指す必要がある。		B

平成28年度の方向性・取組目標		Action														
方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了										
		○														
取組目標	会計制度改正に伴い、今後は、一層の収益向上に努め、経営を安定化させていく必要がある。 そのためにも、今後も、在宅医療サービスに重点を置いた地域包括ケアシステムの構築を踏まえ、行政・医療・介護の関係機関等との連携を深め、病院事業管理者の方針の下、早期に病院改革プランを策定し、市立3病院間での機能分化、連携を推進していく中で、当院の機能を生かした経営戦略を再構築し、持続可能な経営改善を行っていく。															

事業の目的やその数値目標に留意しながら